

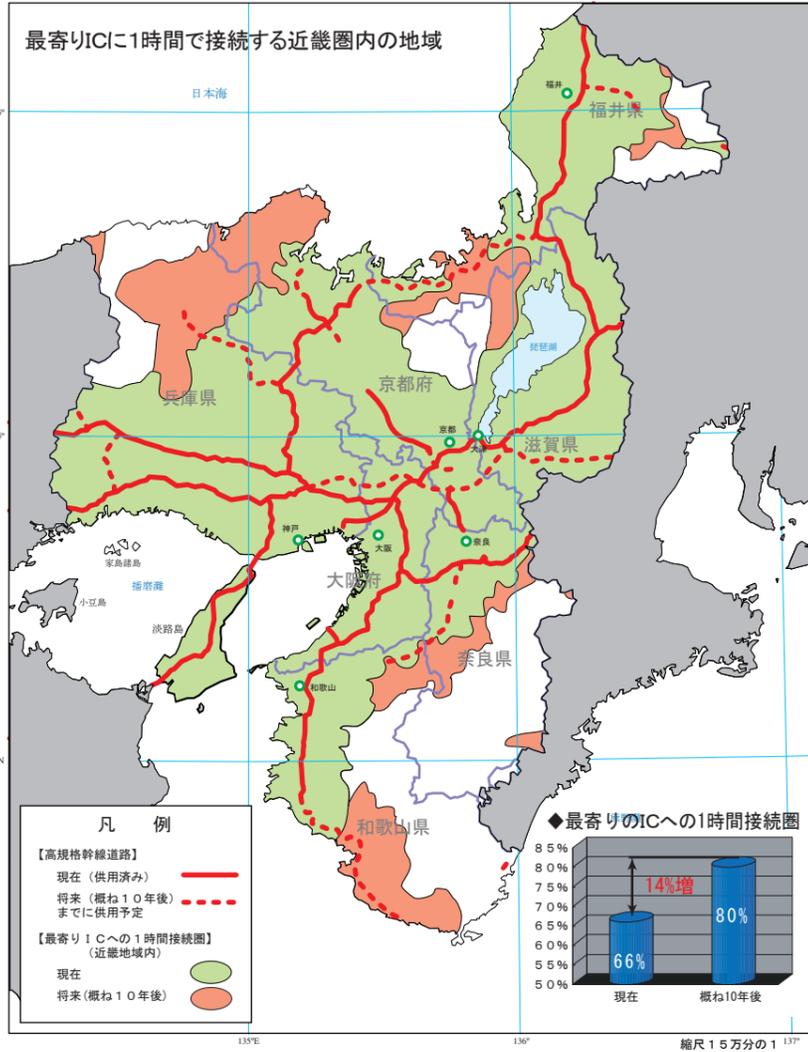
近畿地方の社会資本整備による整備効果

活きる ネットワーク

近畿の活性化を支援する交通基盤の整備

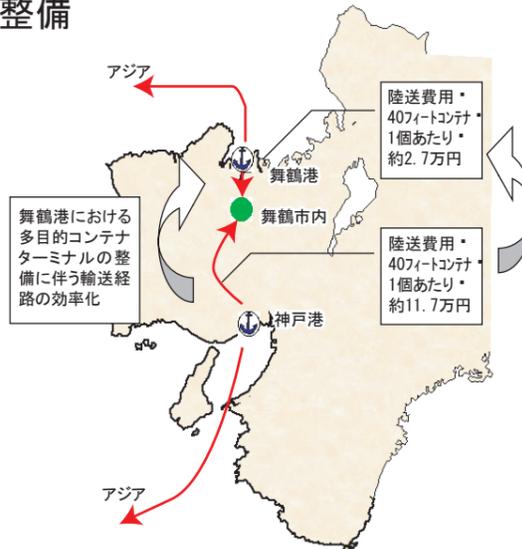
高規格幹線道路の整備

概ね10年後には、近畿の約8割の地域が高規格幹線道路のICに1時間でアクセスできるようになります。

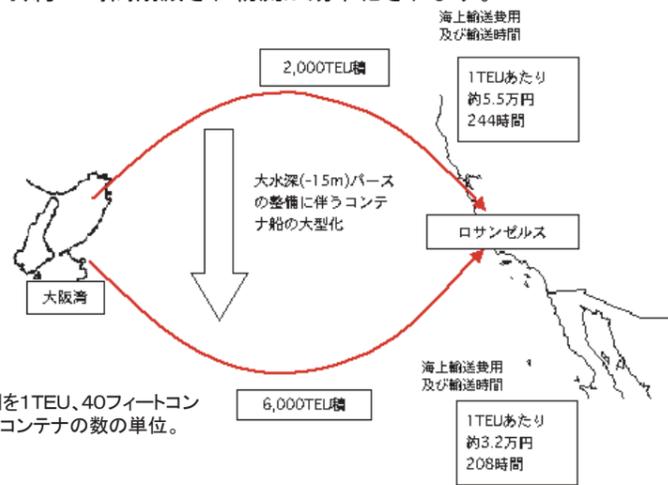


コンテナターミナルの整備

舞鶴港における多目的コンテナターミナルの整備に伴い、現在、神戸港を経由して輸送されている舞鶴市街とアジアの間の貨物が舞鶴港経由をも選択できることとなり、40フィートコンテナ1個あたり、約9万円の陸上輸送（陸送）費用が低減され物流が効率化されます。



大阪港における国際海上コンテナターミナルの整備に伴い、大型のコンテナ船の入港が可能となり、大阪湾とロサンゼルスとの海上輸送コストが1TEUあたり約2万円、約40時間削減され物流が効率化されます。



注) TEUは、20フィートコンテナ1個を1TEU、40フィートコンテナ1個を2TEUとして換算するコンテナの数の単位。

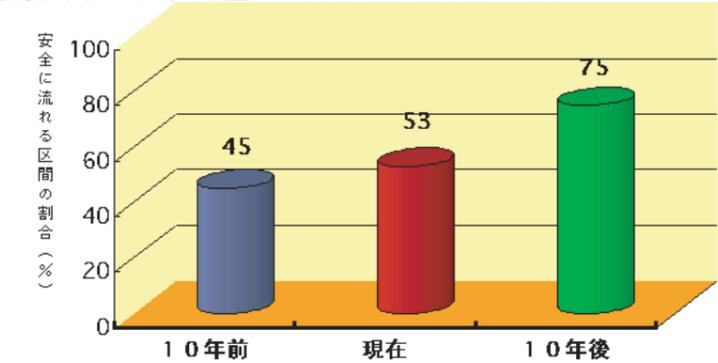
守る暮らし

安全で安心できる暮らしの実現

河川整備（淀川）

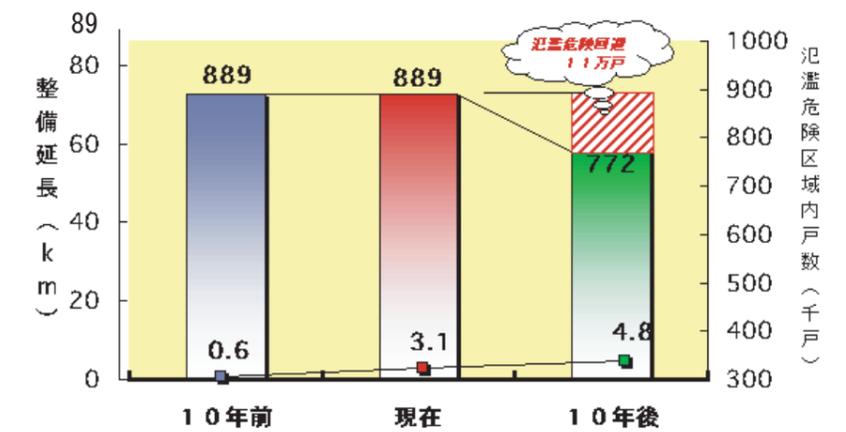
概ね10年後には河川整備により河道の流下能力が向上するとともに、スーパー堤防整備により氾濫危険区域内戸数が減少します。

戦後最大クラスの洪水の流量[※]に対する河道の流下能力の状況



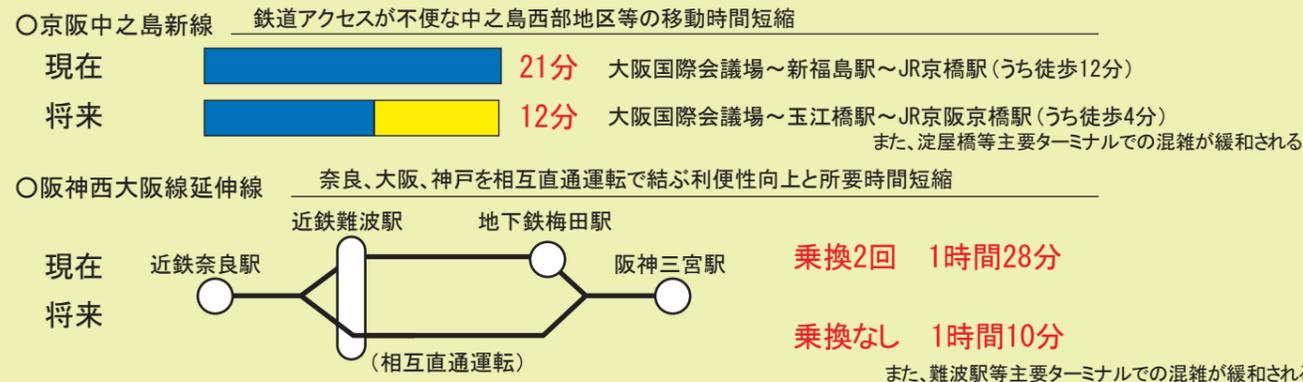
※30~40年に一度の確率の降雨時の流量
注)この評価は対象洪水に対する堤防の断面で評価しており、堤防の強度等は考慮していない。よって併せて、護岸の設置、耐震対策等を実施する必要がある。

スーパー堤防の整備延長と回避される氾濫危険区域内戸数の状況



鉄道の整備

所要時間の短縮、乗換回数の低減による利便性の向上等が図られます。



よみがえる 都市

快適で活力のある都市の再生

連続立体交差事業

都市内の交通円滑化、消防車・救急車などの緊急車両の到達時間の短縮、踏切事故の解消に寄与

連続立体交差事業による踏切除去
(大阪府下では連続立体交差事業により260箇所の踏切除去)

注)大阪府内の連続立体交差事業箇所を対象

